



いわき市

市長記者会見

令和4年8月2日

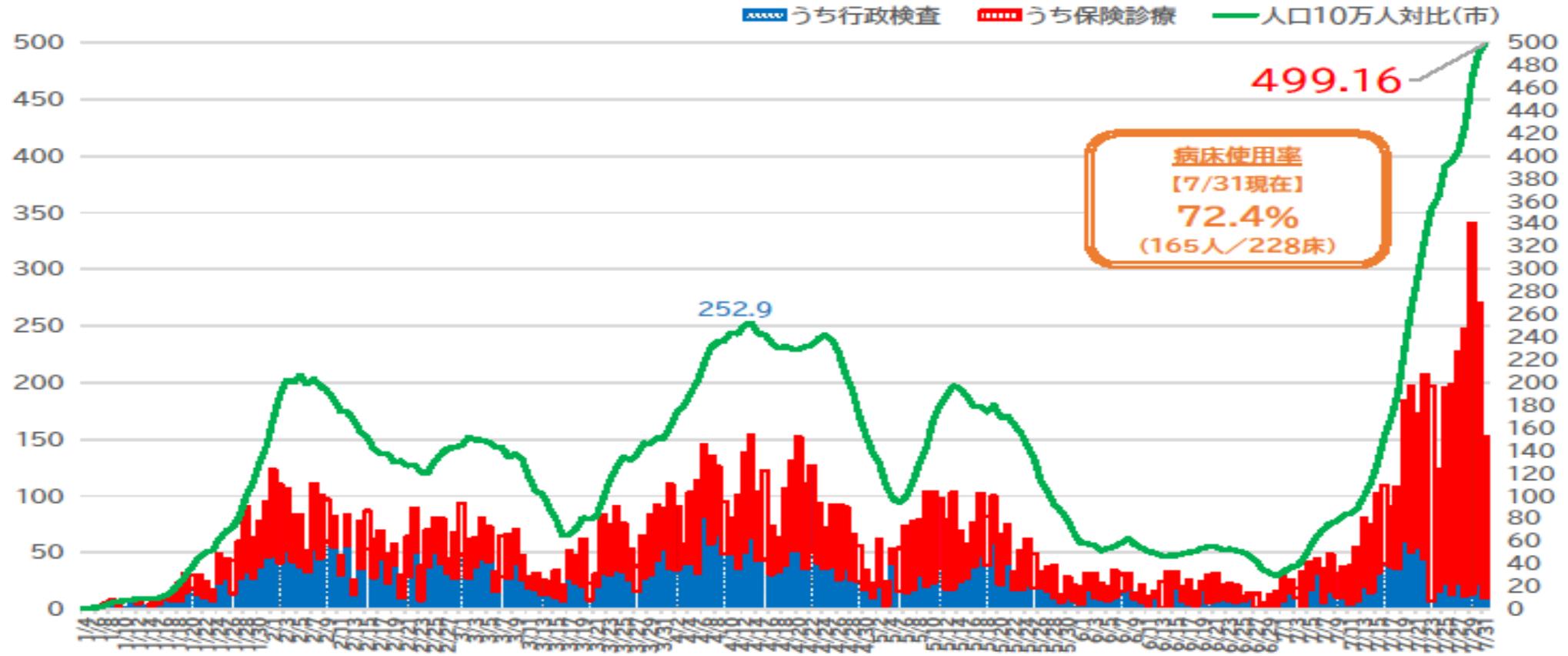


いわき市

案件

1 夏まつり感染防止対策5か条について

新規感染者数と人口10万人対比の推移



直近2週間の状況

陽性判明日	7/18	7/19	7/20	7/21	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31
陽性者数	108	184	197	172	207	197	123	195	198	227	247	341	270	152
うち行政検査	36	61	50	55	45	7	16	23	14	23	12	14	24	10
うち保険診療	72	123	147	117	162	190	107	172	184	204	235	327	246	142
人口10万人対比	189.86	229.37	264.89	294.60	326.75	353.70	363.81	390.45	394.74	403.92	426.89	467.93	490.28	499.16

夏のイベントを楽しむために 市民のみなさまへのお願い

新型コロナウイルス感染防止対策

夏まつり 感染防止対策 5か条

- 1 基本的感染対策の徹底(手指消毒、踊る時以外のマスク着用など)
- 2 発熱、のどの痛みなど体調不良の場合は、不参加
- 3 マスクを外しての飲食時は黙食。飲食時以外はマスク着用
- 4 マスクなしでの踊りの際は、発声なし
- 5 踊りや花火鑑賞の前後も密集・密接に注意

速やかなワクチン接種

- 発症予防・重症化予防の観点から、ワクチン接種が済んでいない方は、速やかな接種を検討してください。

いわき市内の夏まつりは、それぞれの実行委員会で
 新型コロナウイルス感染防止対策チェックリスト等を作成し、ホームページ等で公開しております。
 夏まつりに行く際は、主催者の指示に沿った行動をお願いします。

	第67回いわき花火大会	いわき七夕まつり	第41回いわきおどり
開催日	令和4年8月6日(土)	令和4年8月6日(土) 7日(日)	令和4年8月8日(月)
主な感染 防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・管理エリアの観覧者数の削減 (6万人→3.5万人) ・打上げ時間の短縮 (2時間→約1時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩スペースなし ・ステージイベント会場なし ・露店で酒類の提供なし ・露店で的手指消毒液設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加人数上限、部門数の削減 (7,200人→2,550人) (4部制→3部制) ・露店の出店なし ・会場内用手指消毒液設置 ・おどり参加者の7日分の 健康管理書類の提出義務
来場される 方への対策	<ul style="list-style-type: none"> ・入場ゲートでの 手指消毒及び検温 ・前売券販売による 来場者情報の把握 ・全席イス指定席 ・黙食の要請 	<ul style="list-style-type: none"> ・マスク未着用時大声で 叫ぶなどの行為禁止 ・路上での飲酒、 食べ歩きの自粛要請 	<ul style="list-style-type: none"> ・マスク未着用時大声で 騒ぐなどの行為禁止

夏まつり 感染防止対策 5か条を守り いわきの夏を楽しみましょう



いわき花火大会



いわき七夕まつり



いわきおどり



いわき市

案件

2 構造改革レポート「IWAKI NEXT」について

構造改革レポート

IWAKI NEXT

Vol.1 2022.8.2

いわき市構造改革推進本部

☐ まえがき

- ☞ 人口減少・少子高齢化の加速、頻発する自然災害、新型コロナウイルスのまん延など、地域社会が大きな転換期を迎えています。
- ☞ 新たな技術の目まぐるしい進展で、私たちの働き方や求められる能力も変化しています。
- ☞ 行政としても、新たな時代の変化を敏感に察知し、能力やスキルを絶えず更新して、市民の皆様から選ばれるまちづくりを進めていかなければなりません。
- ☞ こうした背景から、いわき市役所は、これまでの古い慣例や仕組み、職員の意識を大胆に変革し、新たな価値を生み出す改革に取り組んでいきます。

☐☐ ねらいは？

ビジョン

『次の時代へ、「生み出す」改革』

ミッション

『資源の再配分と体質の改善』

バリュー

『改革の主役は、各部各課、
職員一人ひとり』



選ばれるいわきへ
選ばれる市役所へ

☐ 進め方は？

① 徹底した現場主義

現場の悩みと課題に寄り添い、解決の方法を一緒に考え解決します。

② 徹底したベンチマーク

自治体や民間の優良事例を各部に提案し、良いものを取り入れます。

③ 徹底したトライアル

効果が出やすい改革から実行し、小さな成功体験を積み上げていきます。

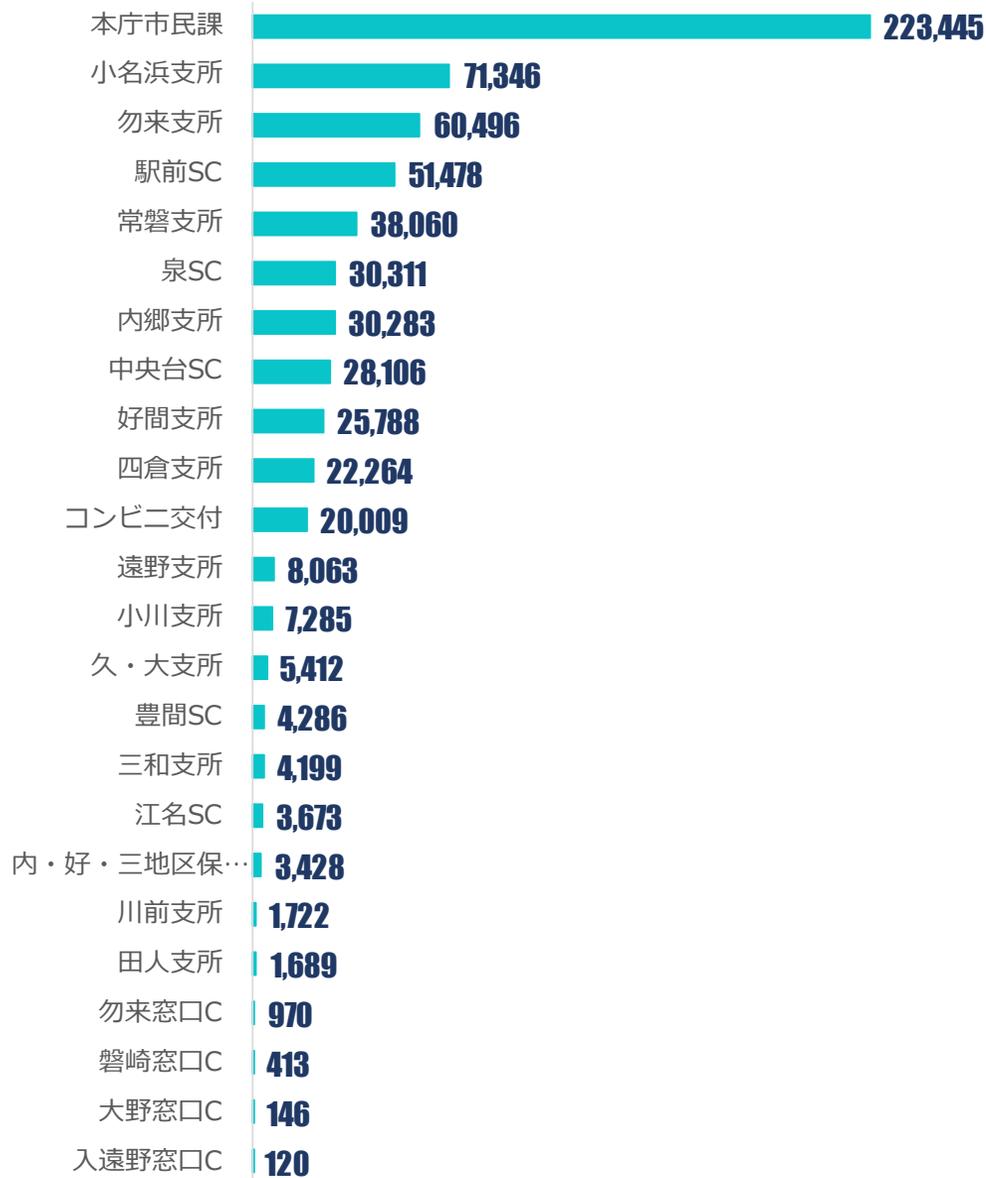
☐☐ 取組みの方向は？

市民サービスのあり方と公共施設を見直し最適化します。

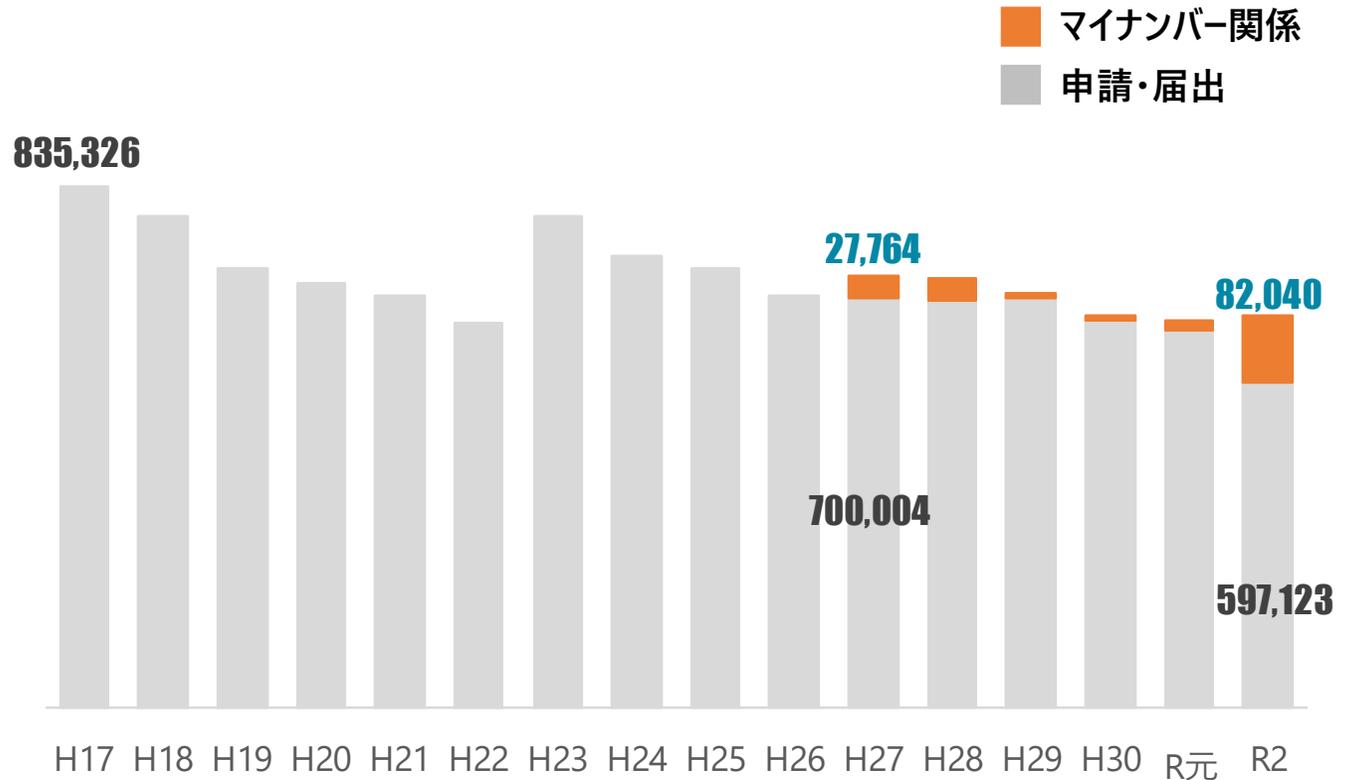
- 現在1,300以上ある公共施設を、
人口減少時代に対応した適切な規模・配置へと見直します。
- 市民の皆様へのサービス水準を確保しながら、
公共施設のスリム化が図られるよう、市民サービスのあり方を最適化します。
- 広域多核都市の特性を踏まえつつ、
デジタル技術や新たなサービス等を組み合わせながら、
将来を見据えた適切なエリアマネジメント（地域経営）のあり方を追求します。

市民窓口の取扱件数

市民窓口の取扱件数は減少傾向。
一方、マイナンバー関係の処理は増加。



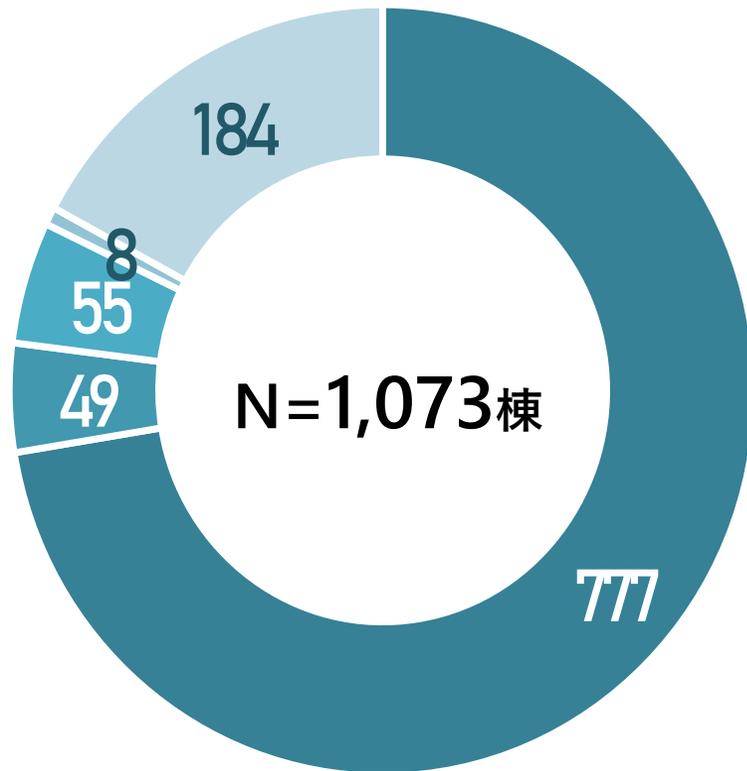
窓口別取扱件数 ※R3年度実績



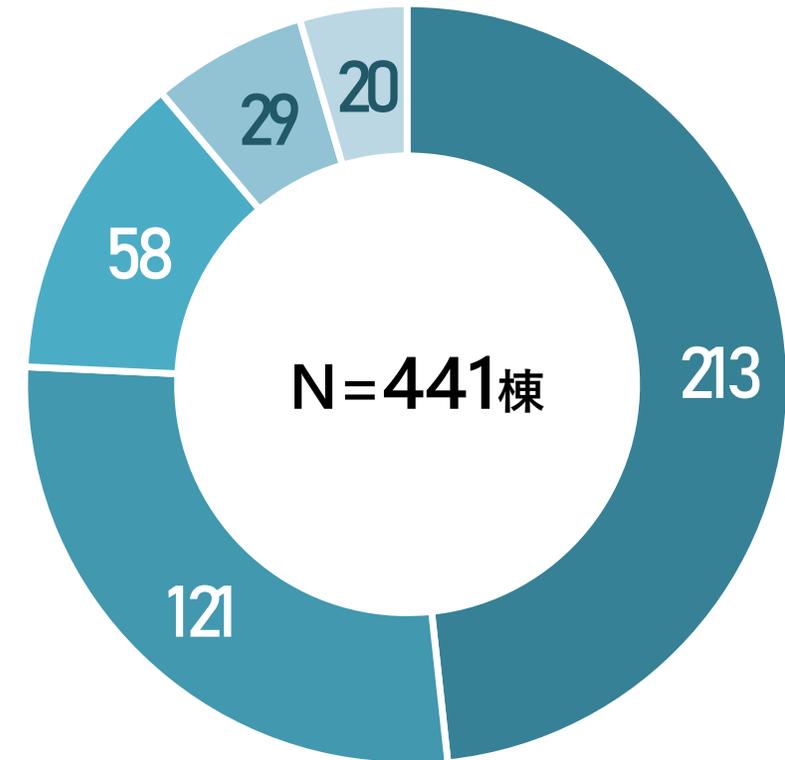
市民窓口の取扱件数推移

旧耐震基準の施設が多く、老朽化が進行。

市営住宅



学校



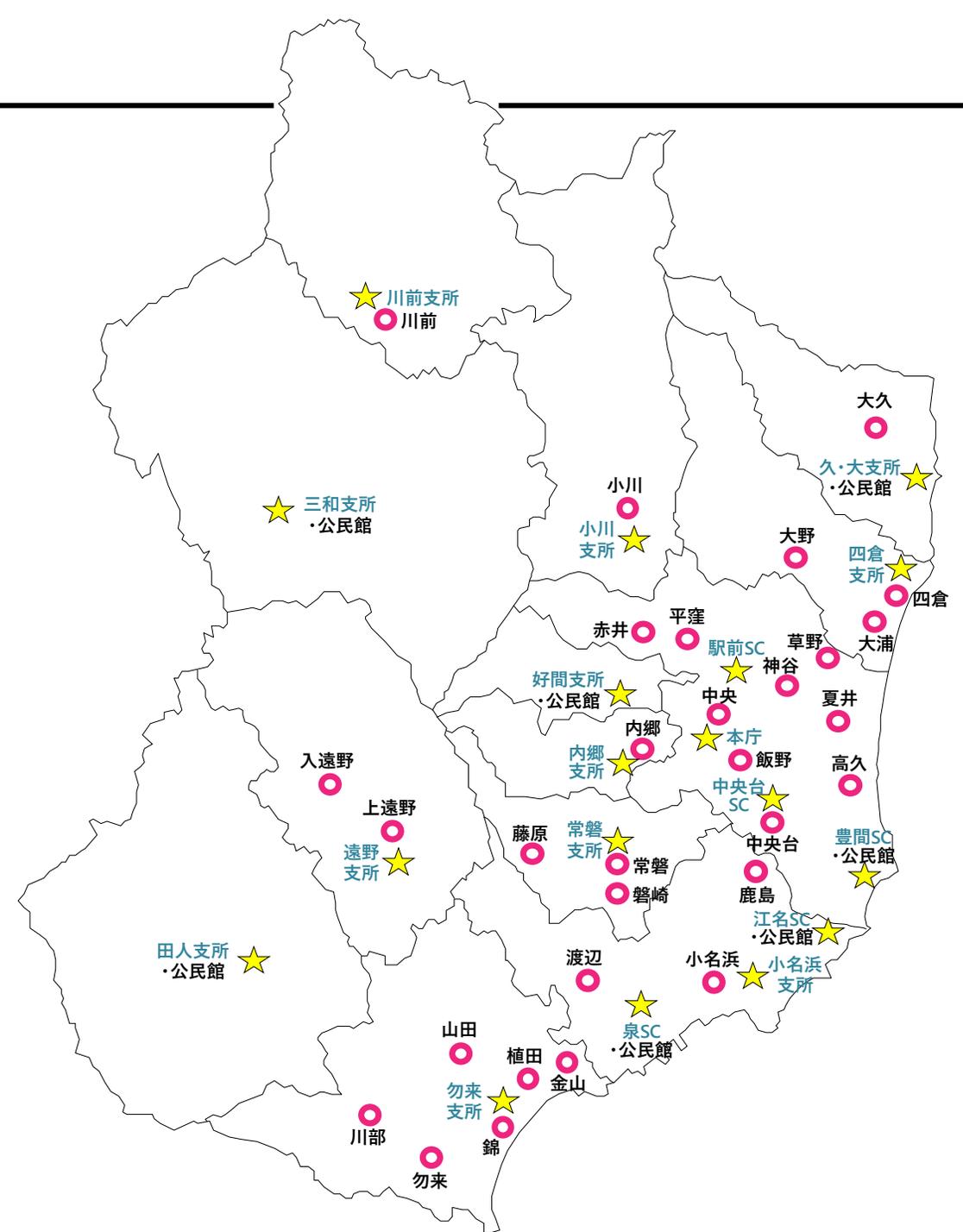
- 築40年以上（旧耐震基準）
- 築30-39年
- 築20-29年
- 築10-19年
- 築10年未満

窓口の利用状況や施設の老朽度合いを重ね合わせながら、地域拠点のあり方を検討。

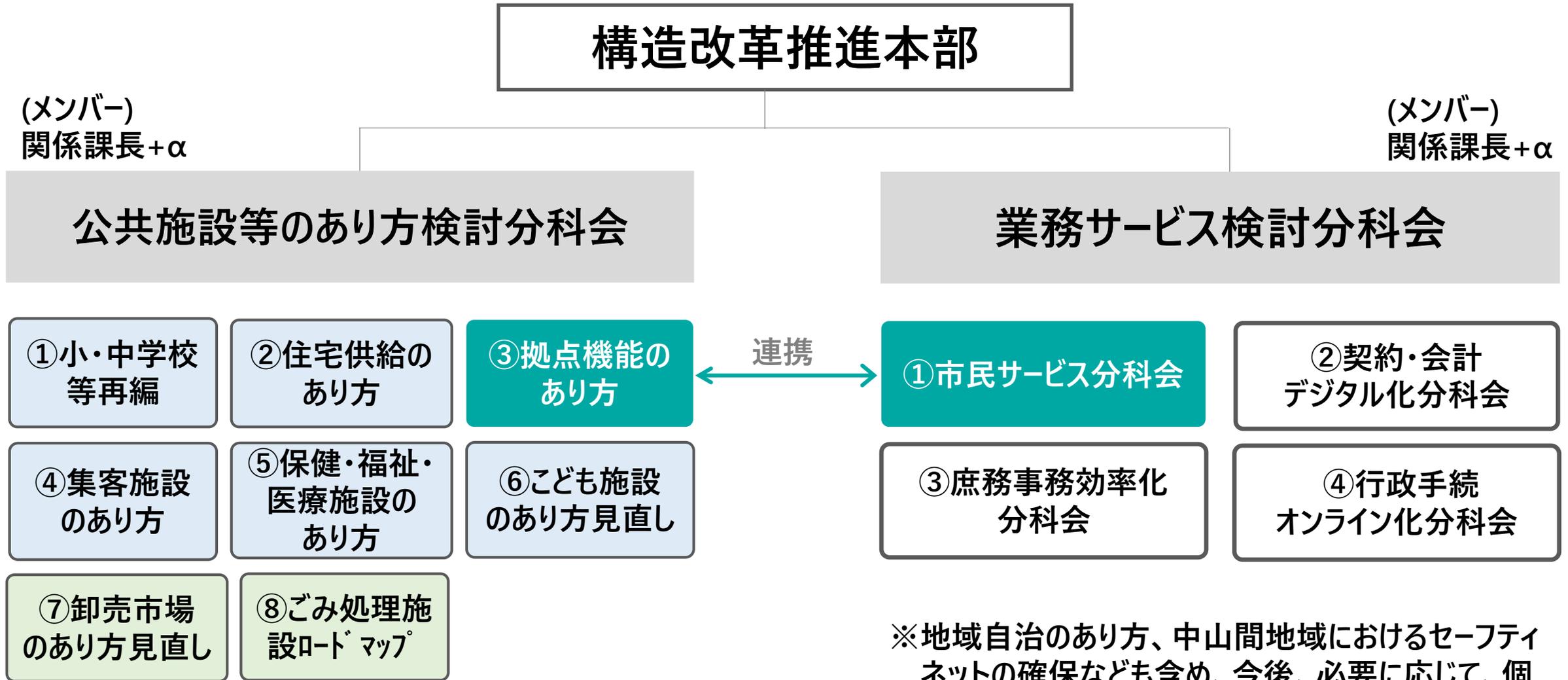
市民窓口 計 21箇所

公民館 計 37箇所

- ★ 支所 12箇所
- ★ サービスC 5箇所
- 窓口コーナー 4箇所
- 公民館 37箇所



重層的な検討体制～関係セクションが主体的に参画



※地域自治のあり方、中山間地域におけるセーフティネットの確保なども含め、今後、必要に応じて、個別に分科会を設置し検討していきます。

DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進により、 市民の皆様の利便性を向上し、職員の生産性を高めます。

- 市民の皆様が、市役所に行かなくても、24時間365日手続きが可能となるよう、行政手続きのオンライン化を進めます。
 - ※ R3年度末で約4割⇒オンライン化が必要な手続きは今後2年間で100%を目指す。
(件数ベースで実質7割)
- デジタル広報メディアを充実させるとともに、オンラインで相談できる体制を整えます。
- 業務の生産性を高めるため、職員が効率的に働くことができる環境を整備します。

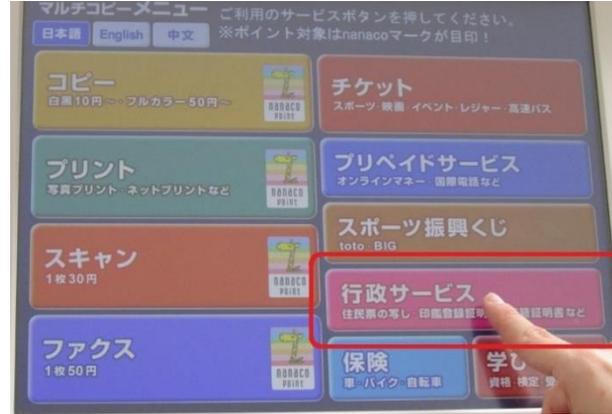
DXにより市民利便性を向上 ～「行かない市役所」を目指す

いつでもどこからでも手続き・相談できる体制を検討

行政手続のオンライン化



証明書のコンビニ交付



アウトリーチサービス

お出かけ市役所を拡充



オンライン相談窓口



コールセンター



チャットボット



デジタル広報メディアを充実

市公式LINE

デジタル広報紙

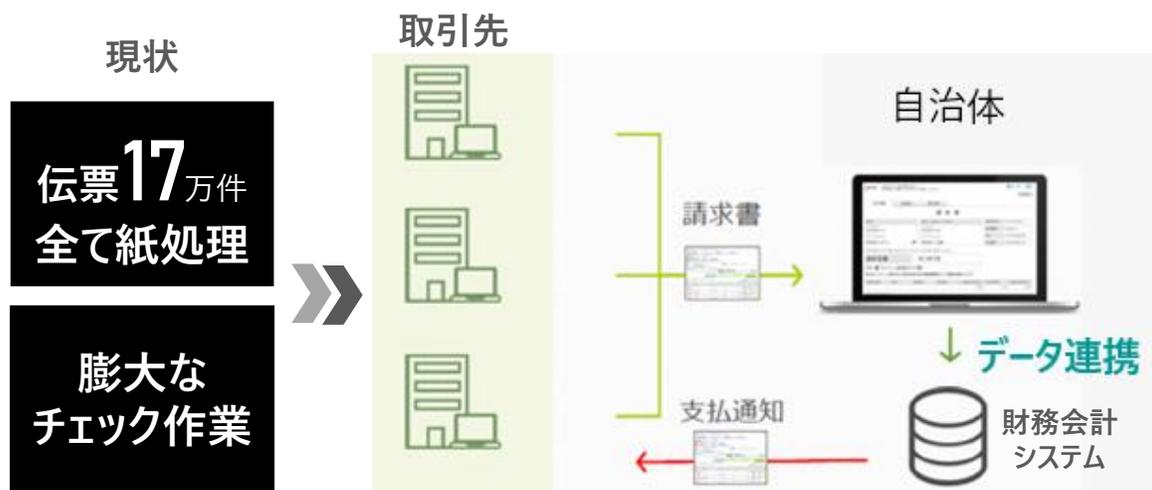


SNS



DXにより職員の生産性を向上～働き方改革とも両立

業務のデジタル化・ペーパーレス化の推進



契約・会計のデジタル化を検討



会議や協議のペーパーレス化



電子決裁の徹底

共通業務の効率化

- ✓ 旅費計算
- ✓ 公用車管理
- ✓ 労務管理

庶務事務の効率的な
手法を検討

- ✓ 貸館業務
- ✓ 維持管理
- ✓ 使用料徴収

施設管理業務の
効率的な手法を検討

システムの最適化



人事評価や人材活用等に新たなシステムの導入を検討

セルフチェック、職員満足度調査を実施。

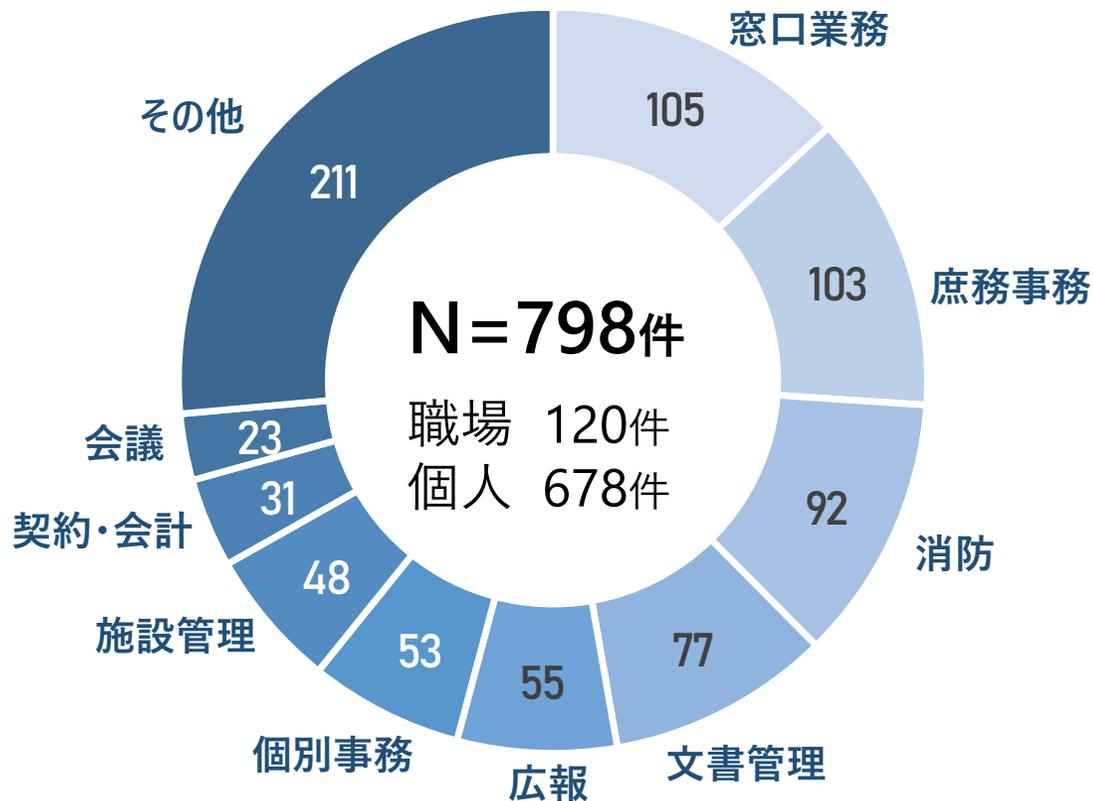
循環型ワーキンググループを立ち上げ、
「カイゼン」を組織カルチャーへ。

- 全所属・全職員を対象に実施したセルフチェック（業務や仕組み、組織等に関する改善提案）に基づき、市役所の改善を進めます。
- 全職員を対象に実施した職員満足度調査の結果を分析し、職員が意欲をもって働ける環境づくりを進めます。
- 係員級の職員で構成する循環型WGを立ち上げ、業務改善を通じて、人材の強化を図ります。

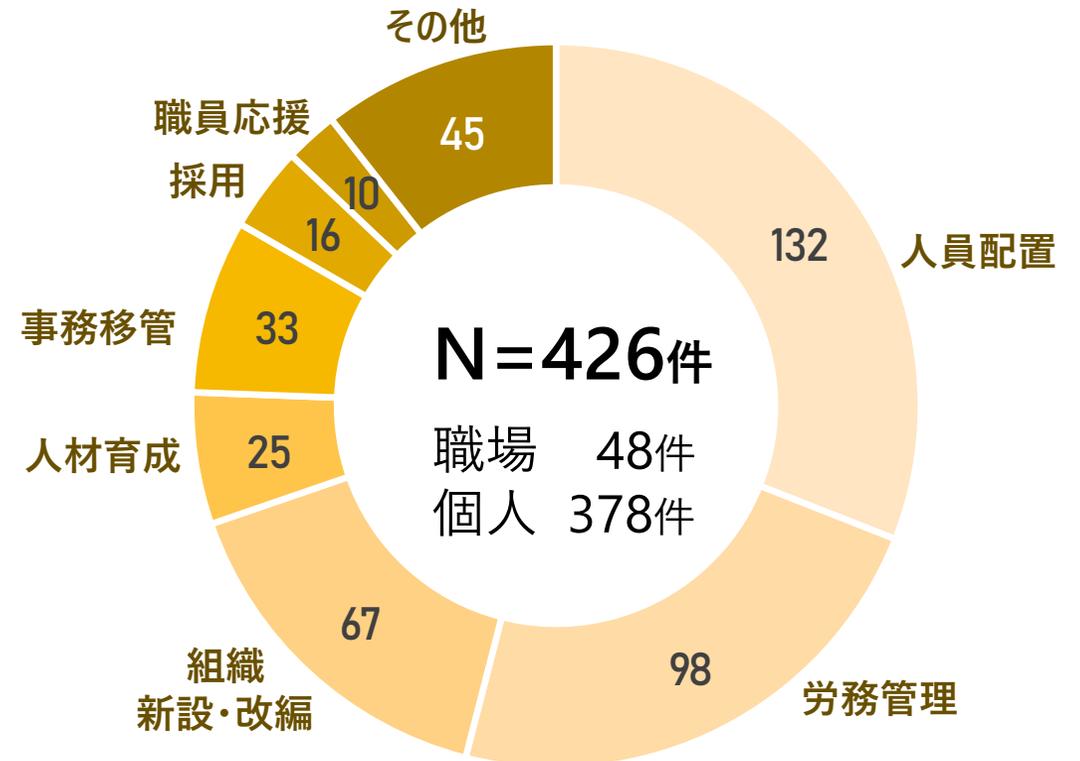
Data.4 セルフチェックの結果概要

- ✓ 内部管理業務に時間を割かれ、注力すべき業務に労力をかけられていない。
- ✓ 保育・消防・窓口など、市民サービスの最前線から改善を求める声が多い。

事務・事業に係る改善提案



組織に係る改善提案



窓口 業務

- ・行政手続きのオンライン化
- ・AIチャットボットの導入
- ・窓口対応マニュアルの整備

広報

- ・広報物の電子化
- ・ホームページの検索機能の強化
- ・専門人材登用によるデザイン向上

庶務 事務

- ・庶務事務の一元化
- ・旅費計算の効率化
- ・公用車管理の一元化

施設 管理

- ・貸館業務の効率化
- ・公共施設予約システムの見直し
- ・維持管理業務の民間委託

文書 管理

- ・ペーパーレスの徹底
- ・電子決裁システムの改善

契約 会計

- ・契約から支払までのシステム導入
- ・伝票処理のペーパーレス化
- ・振込情報開示のデジタル化

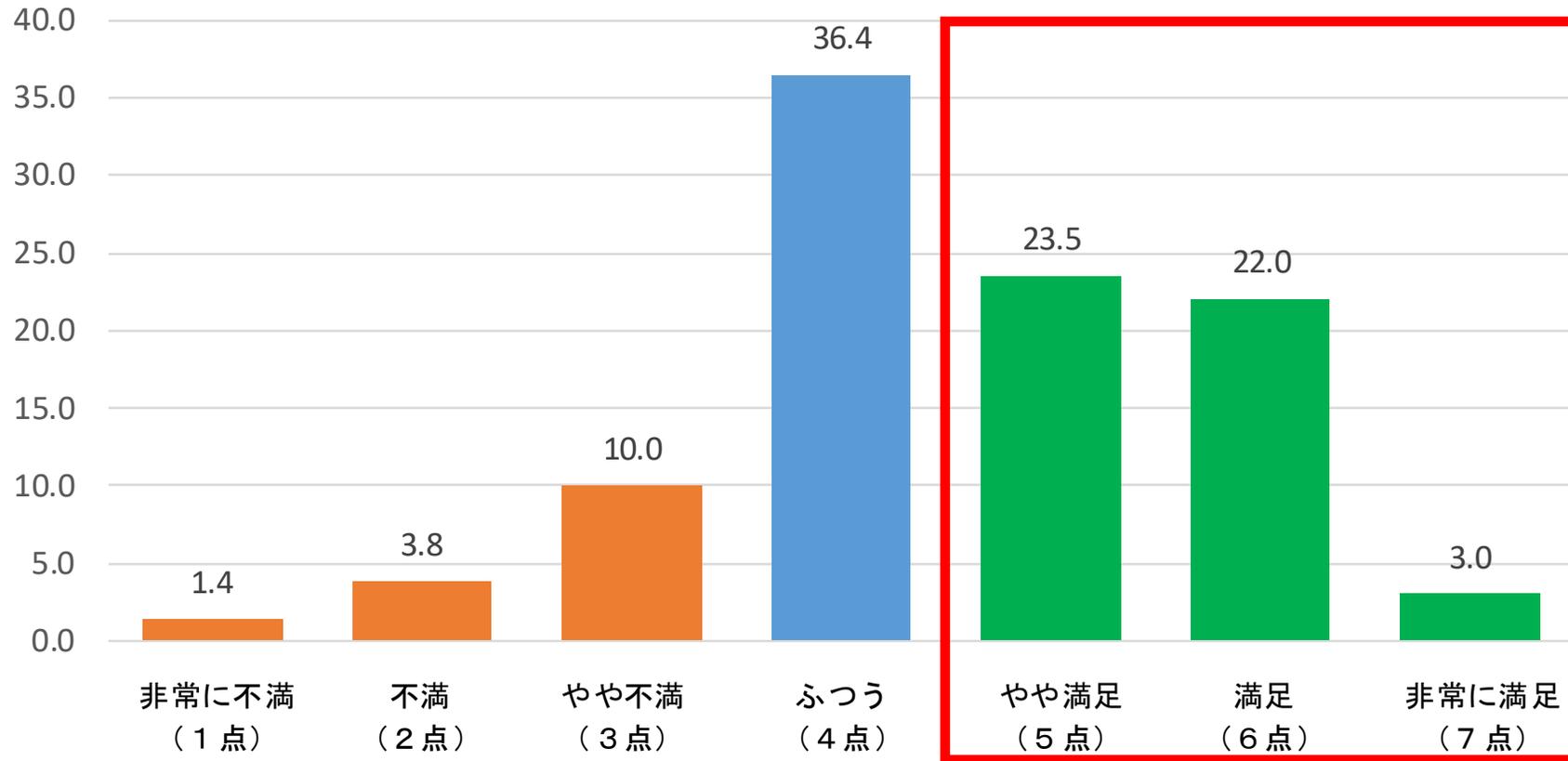
Data.6 職員満足度調査の結果概要

- 1 調査期間 令和4年5月9日～6月3日
- 2 調査対象 全職員（再任用、会計年度任用職員を含む）4,535人
- 3 回答数等

区 分	職員数	回答数	回答率
正規職員	2,653人	1,851人	69.8%
再任用職員	121人	30人	24.8%
会計年度任用職員	1,761人	395人	22.4%
合 計	4,535人	2,276人	50.2%

総合満足度（平均点4.54）

Q01 総合的に考え、現在の仕事・職場・いわき市役所にどの程度満足していますか



不満層 (15.2%)

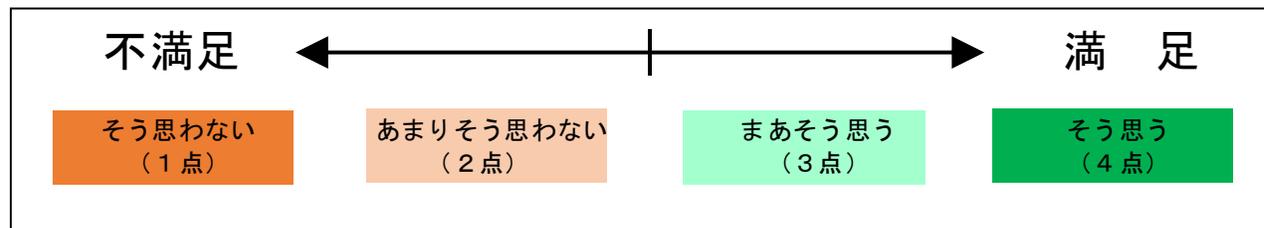
<

満足層 (48.5%)

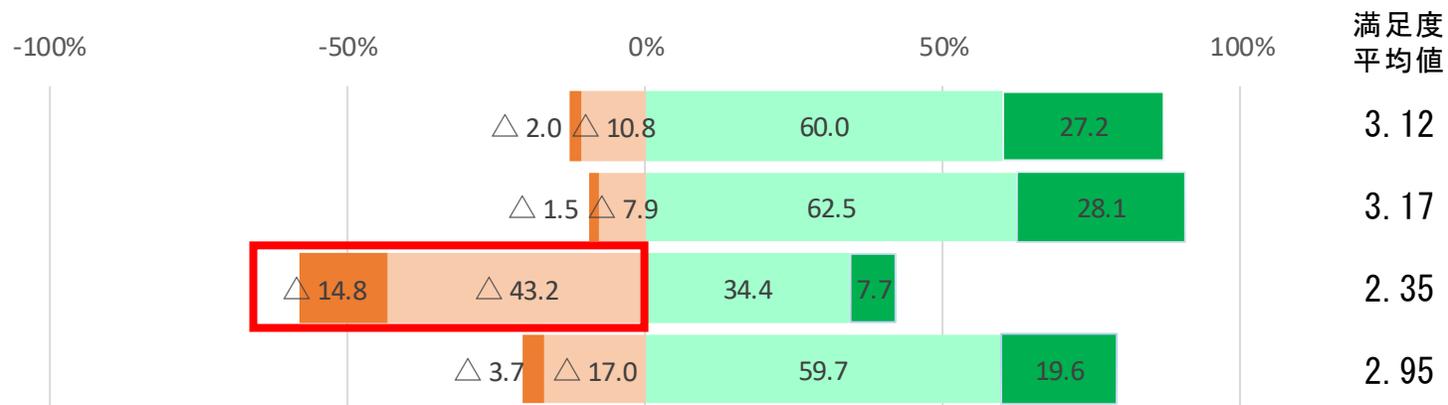
【参考】 R2横浜市総合満足度（平均点4.51）

仕事の満足度

✓ 女性職員の昇任意欲が
男性職員に比べて低い

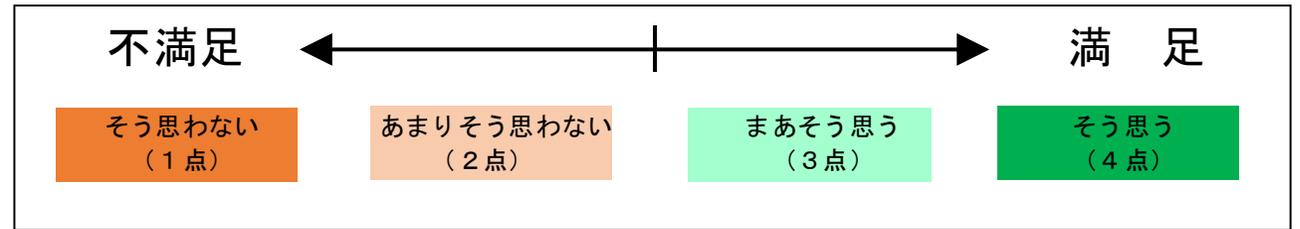


仕事	質問
Q02	現在の自分の仕事はやりがいがある
Q03	いわき市職員として誇りや使命感をもって仕事に取り組んでいる
Q04	より責任のあるポジションに就きたい
Q05	性別に関係なく重要な仕事を任されている

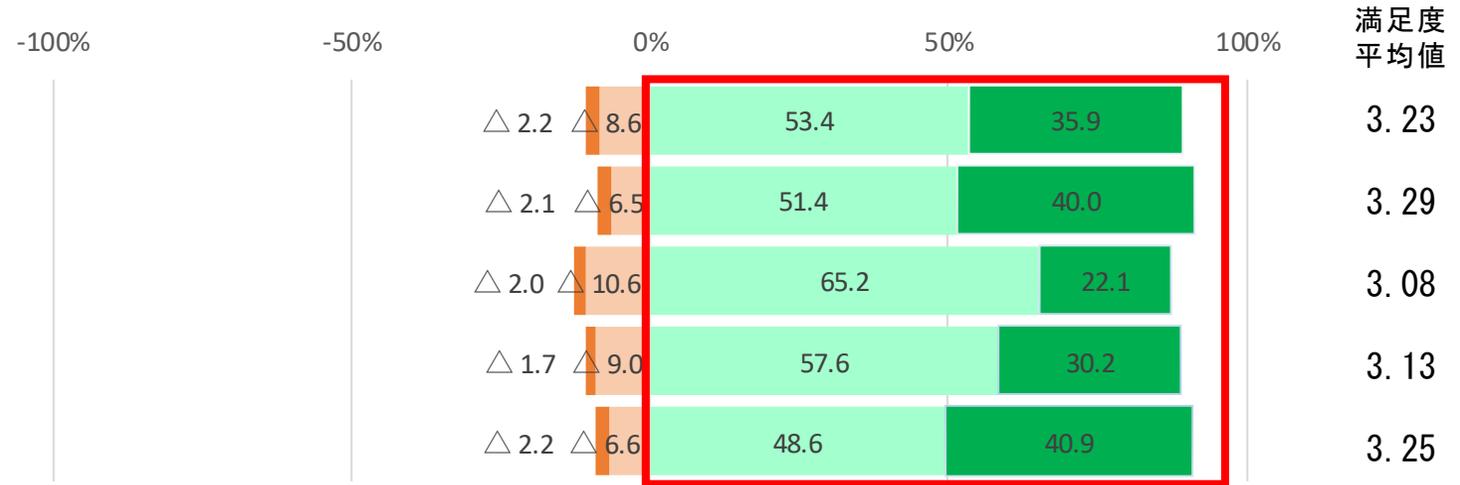


職場の満足度

✓ 職場の雰囲気や人間関係、
上司への信頼度は高い

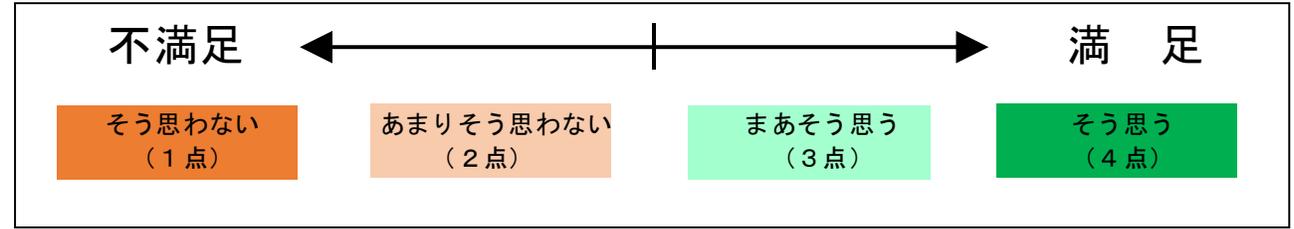


職場	質問
Q06	あなたの職場の雰囲気・人間関係はよい
Q07	あなたと直属の上司との人間関係はよい
Q08	市長・副市長はトップマネジメントとしての役割を果たしている
Q09	所属の部長～次長級の職員は経営責任職としての役割を果たしている
Q10	直属の上司（課長や所長・園長、署長、係長など）は運営責任職としての役割を果たしている

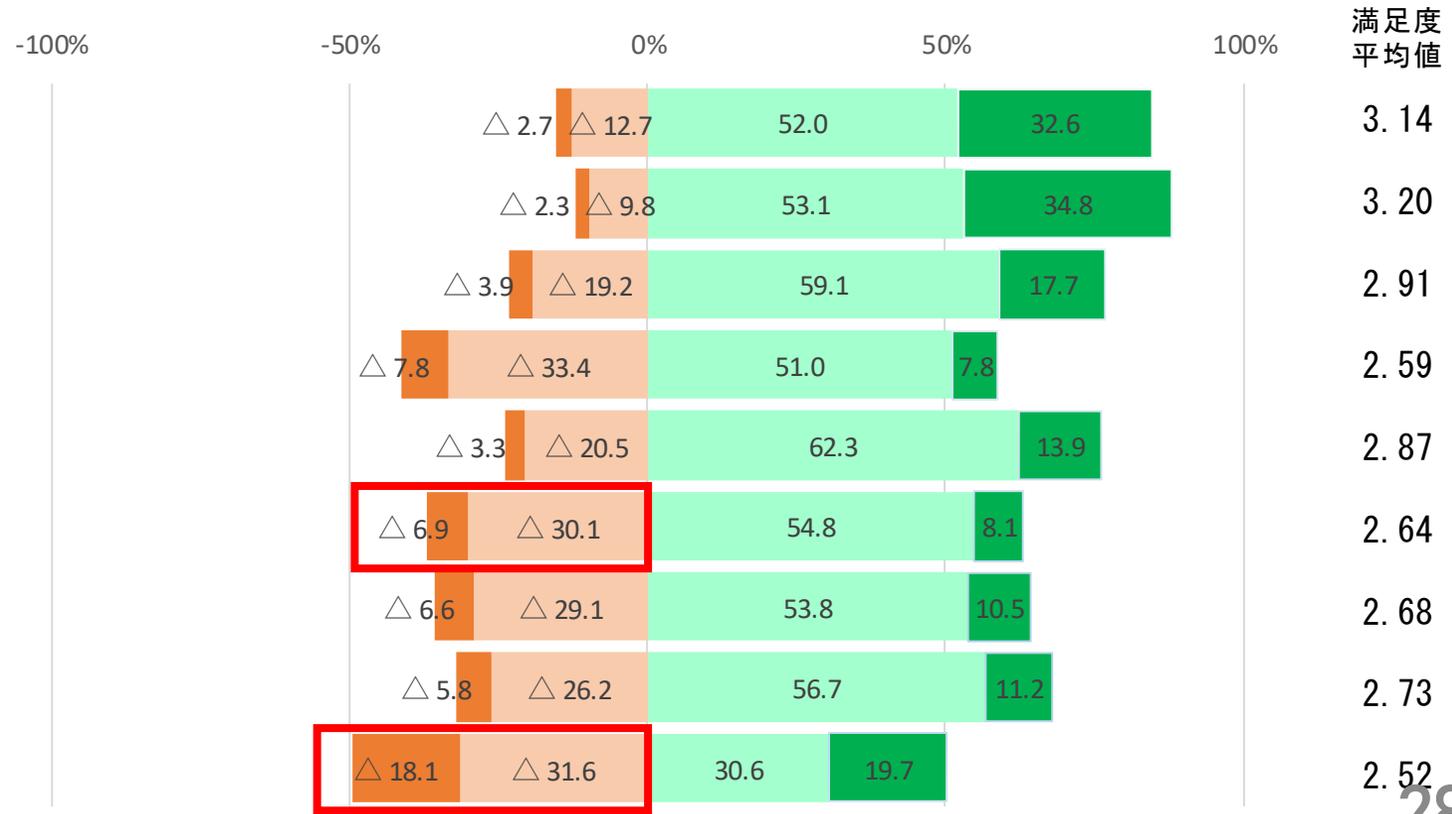


人材育成の満足度

✓ 副業を希望する職員は
概ね半数

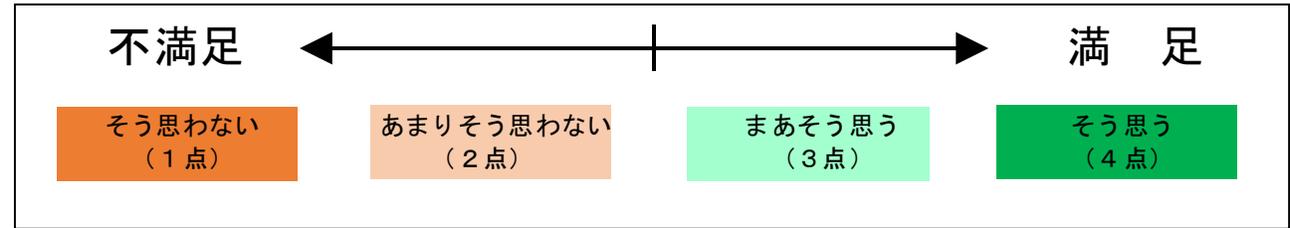


人材育成	Q11	直属の上司は、部下に対して熱心に指導育成にあっている
	Q12	あなたの職場では、職員がお互いに教えあい、育成しあう風土がある
	Q13	職員として「今後こうありたい」という目標がイメージできている
	Q14	いわき市は職員の人材育成に力を入れている
	Q15	いわき市で働くことで成長できている
	Q16	現在の職員研修に満足している
	Q17	仕事に必要な知識やスキルを習得できる機会が設けられている
	Q18	これまでに受けた研修は、キャリア形成や能力開発につながっている
	Q19	本業に活かすための自己研鑽の一環として副業をしたい



人事・給与の満足度

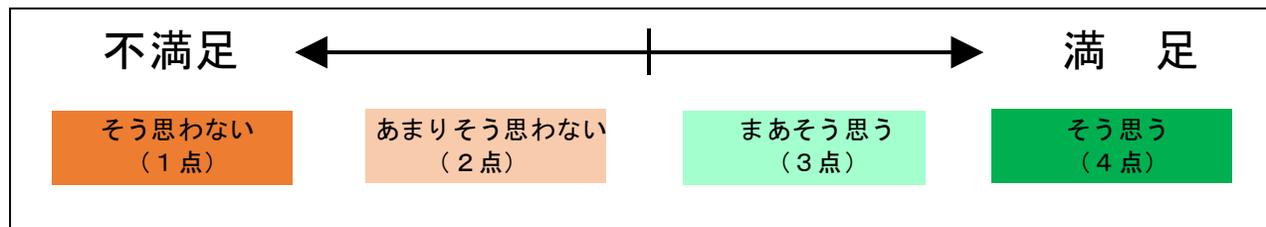
✓ 人事給与制度・人事配置への不満が多い



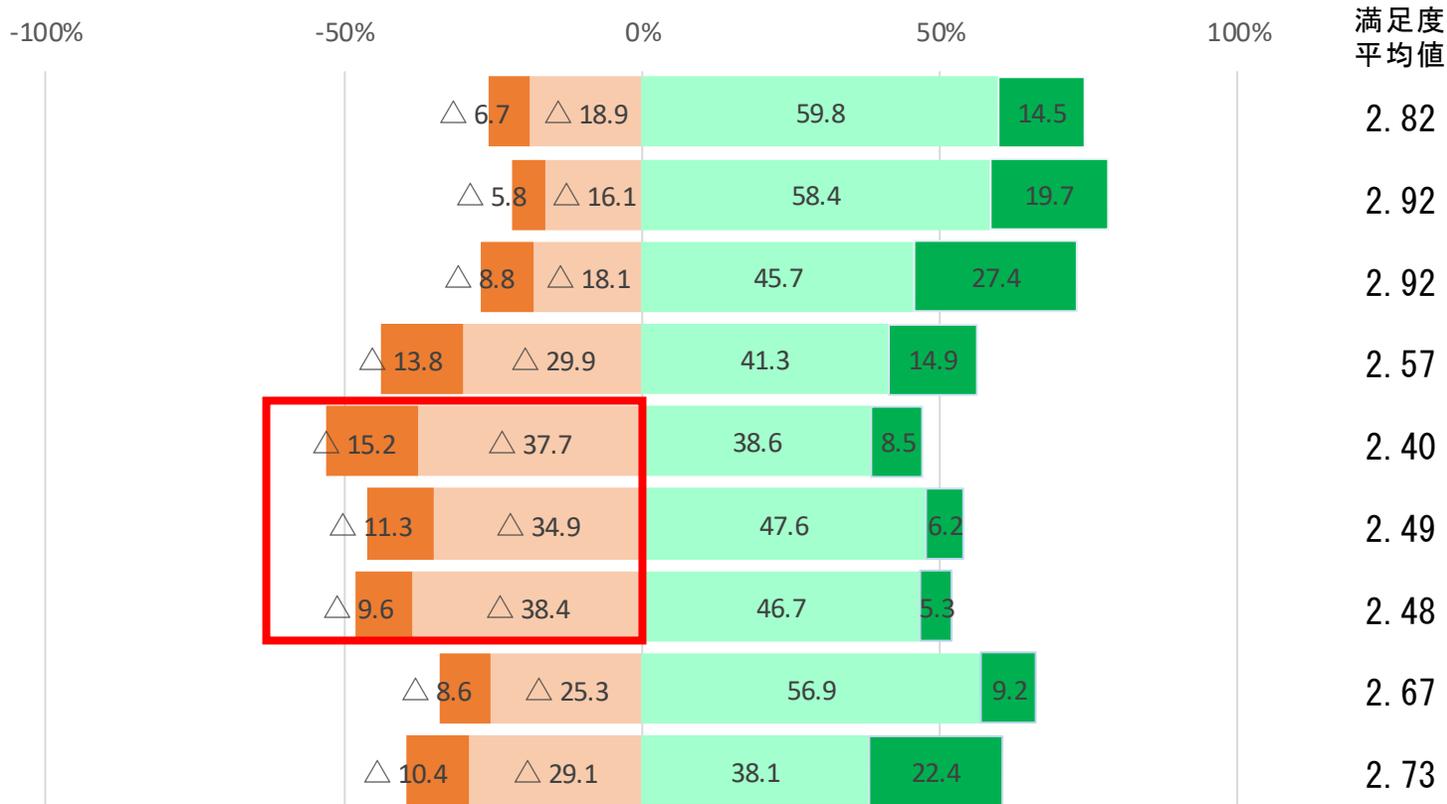
質問	内容
Q20	人事評価は、人材育成や能力開発に役立っている 自己申告制度は、適正な人事異動に反映されている
Q21	仕事の実績だけでなく、仕事のやり方・姿勢も評価されている
Q22	人事評価は、適正に昇任や昇給に反映されている
Q23	人事給与制度は、やる気や意欲に応えるものとなっている
Q24	人事異動は、自分のキャリア形成（適正開発・能力活用）につながっている
Q25	仕事の質・量に応じた人員配置となっている

労働環境の満足度

✓ ストレスを感じる職員が多い



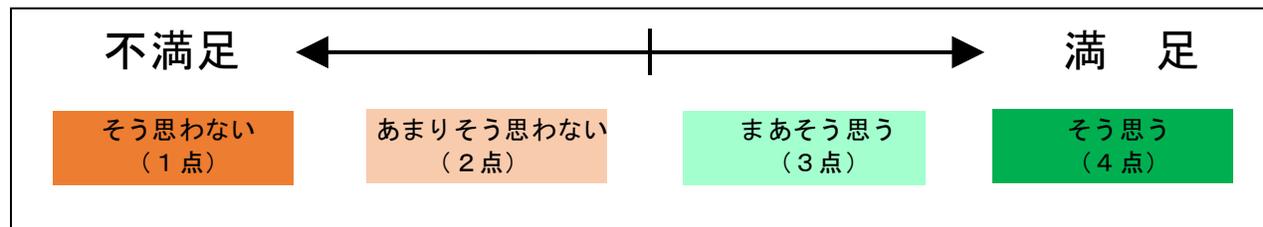
労働環境	項目	内容
Q26	仕事と生活の両方が充実し、バランスが取れている	
Q27	現在の実労働時間は適正である	
Q28	休暇を取得しやすい職場環境である	
Q29	職場のオフィス環境（施設・設備面）はよい	
Q30	仕事上で過度のストレスを感じることもある（※）	
Q31	福利厚生制度はニーズが反映されたものとなっている	
Q32	メンタルヘルス対策が充実している	
Q33	ハラスメントへの対応が適切にされている	
Q34	多様な働き方（テレワークや時差出勤など）をしたい	



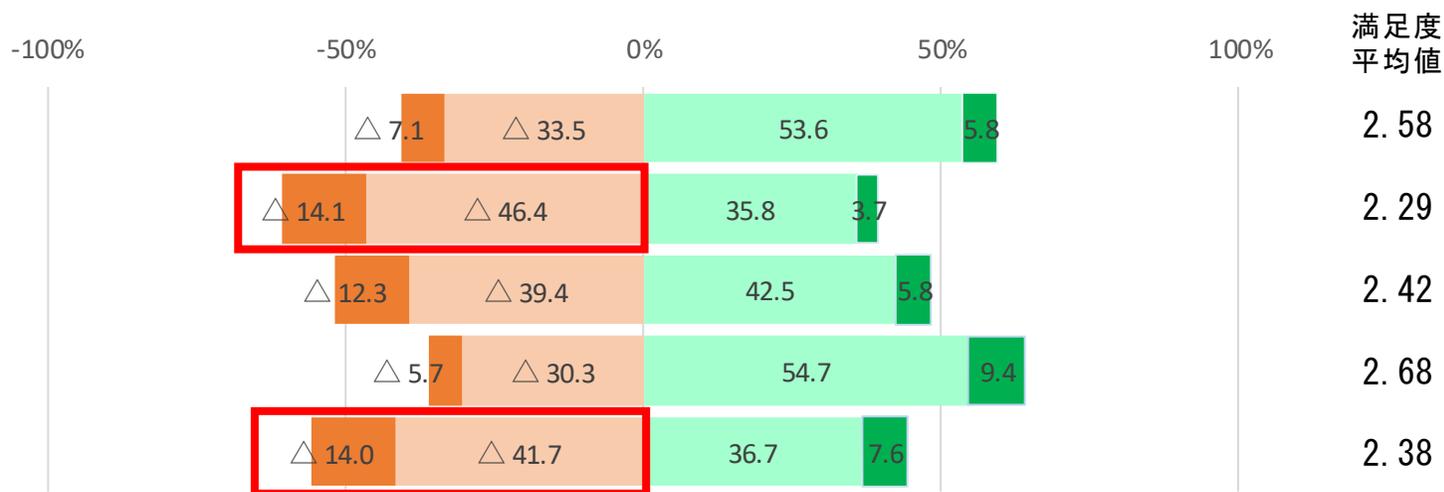
※ 回答結果の数値を変換し、数値が高いほど項目の満足度が高くなるよう調整した。

業務効率の満足度

✓ 業務効率に課題を感じる職員が多い



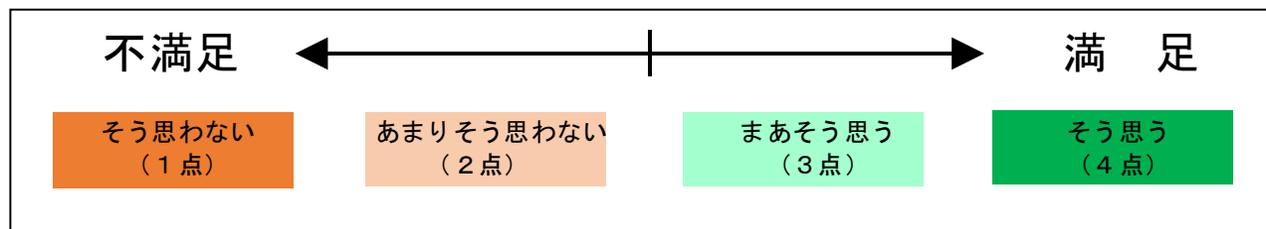
業務効率	質問
Q35	あなたの職場では仕事の見直しにより、効率化が図られている
Q36	あなたの職場では仕事の効率化に向けて、ITの活用が進んでいる
Q37	あなたの職場には無駄な仕事がある (※)
Q38	あなたの職場ではコストを意識して行動している
Q39	あなたの職場ではペーパーレスを意識して行動している



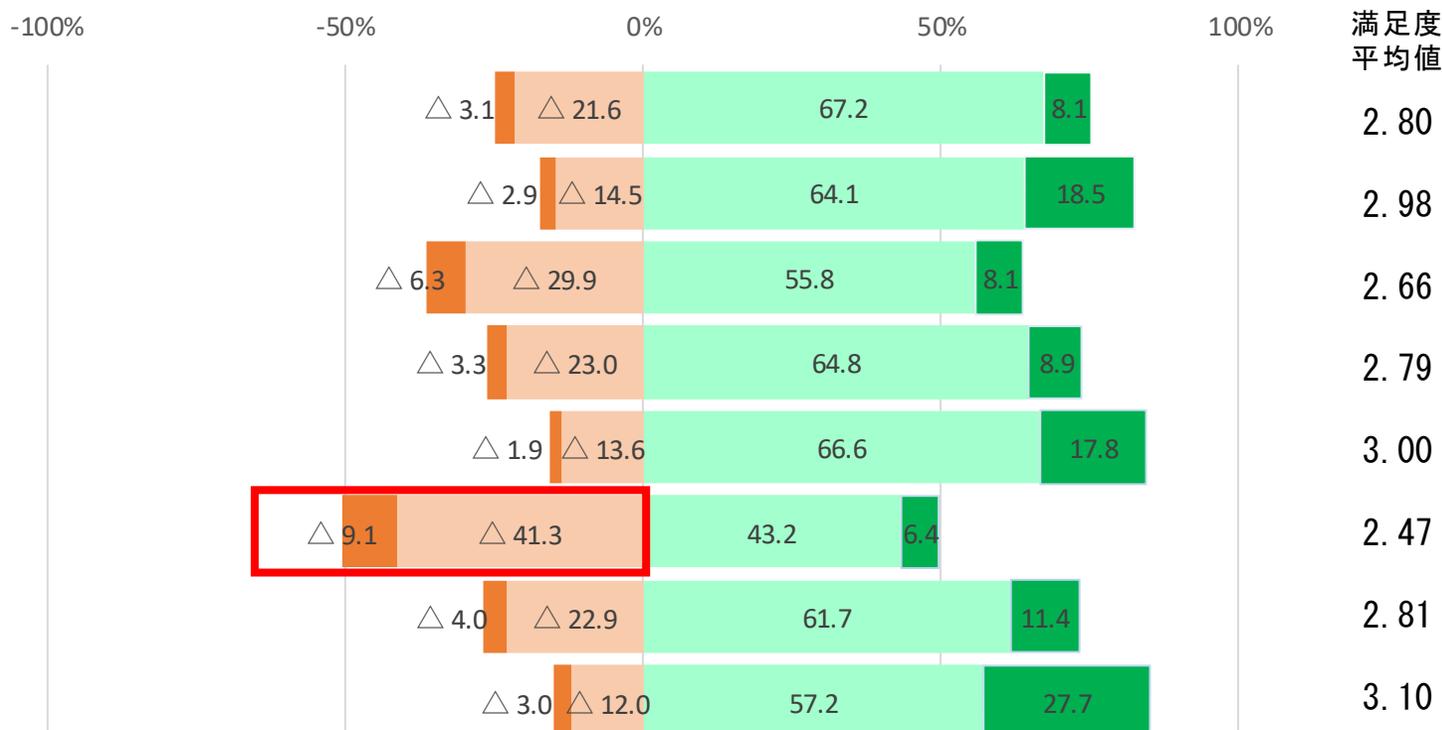
※ 回答結果の数値を変換し、数値が高いほど項目の満足度が高くなるよう調整した。

組織風土の満足度

✓ チャレンジできないと感じる
職員が多い



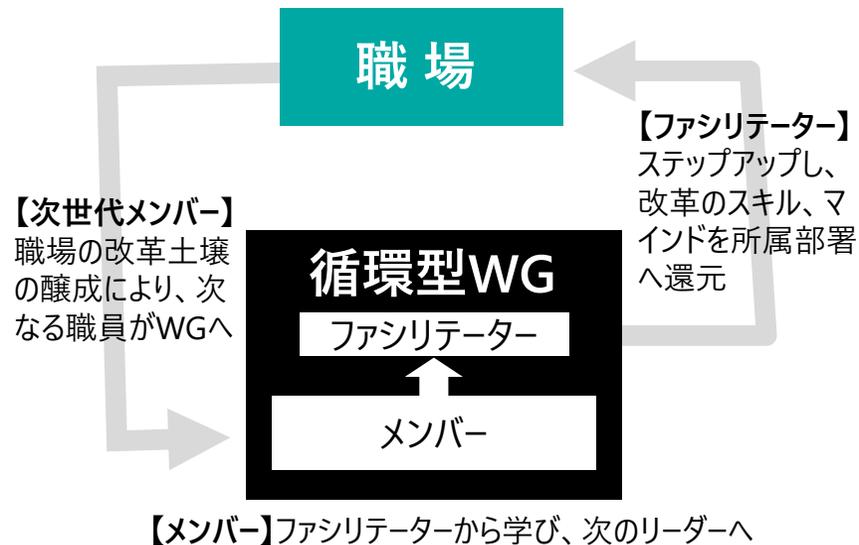
組織風土	Q40	関係部署との連携がうまくいっている
	Q41	あなたの職場では、仕事に関する情報共有が図られている
	Q42	現場職員の声が業務の構築や見直しに反映されている
	Q43	いわき市や所属する部署の方針を把握している
	Q44	市民や企業等と協働して取り組むことの大切さを理解し、仕事に取り組んでいる
	Q45	先進的な取り組みや斬新なアイデアにチャレンジできる環境である
	Q46	業務を進める中でサポートが受けられる体制となっている
Q47	いわき市役所に今後も勤め続けたい	



ワーキンググループ『IWAKI NEXT』～カイゼンと強化を循環

設置目的

デジタル化や脱炭素化の世界的潮流を経て、これからは、「**問題発見力**」、「**的確な予測**」、「**革新性**」がなお一層求められます。右の3つのミッションを通して、これらの能力を磨き上げ、**人材の強化**を図るとともに、日常的に改革・改善が進む市役所となるよう、育てた**人材を循環し、カイゼンを組織カルチャー**とします。



ミッション

Iwaki Standard group

職員からの改善提案（セルフチェック）を踏まえつつ、庶務事務など庁内共通業務の圧縮・効率化に向けたガイドライン及び効率・効果的な働き方のアイデアをまとめた行動マニュアルを作成

いわきNEXT発信 group

構造改革の取組を発信する広報マンとして活動し、活動を通じて「伝える」発信から、「伝わる」発信へと転換を図るため、行政情報発信のあり方を整理し、併せて、職員が作成する資料のデザイン力向上に向けた取組みを実施

対話型プラットフォーム group

多様な世代、職種、立場の市民が気軽に市政へ参画し、オープンな場で対話や議論、交流ができるプラットフォームを構築するため、先進事例を紐解き、いわき市版「市民対話型プラットフォーム」を試行的に展開

☐ ロードマップは？

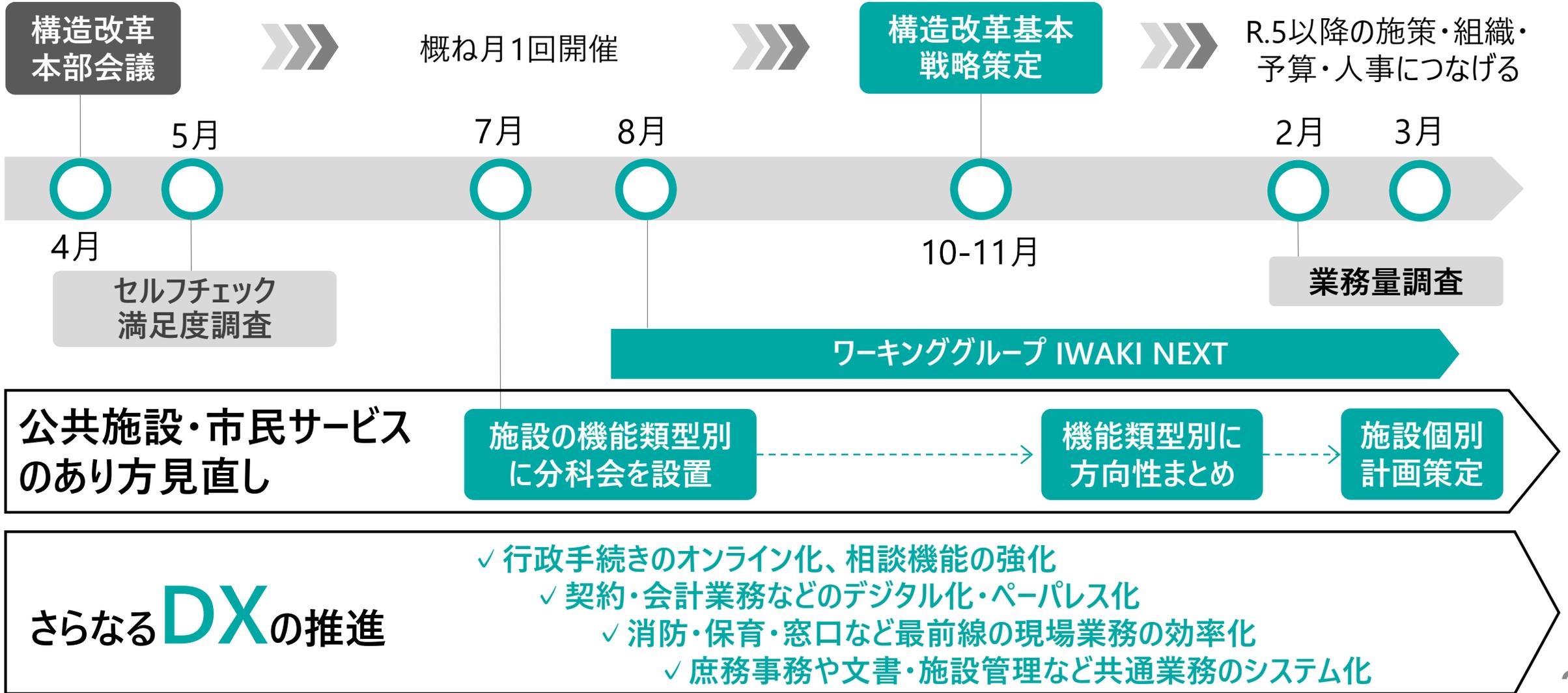
来年度からできること

- 行政手続きを順次オンライン化（住民票、税証明：R5）
- 人材育成基本方針の改定
- ペーパーレスの徹底

etc

中長期的に対応すべきこと

- オンライン相談体制の構築・コールセンター設置
- 市民対話型プラットフォームの構築
- 市民サービス提供体制の最適化 etc





いわき市

案件

3 「行革甲子園2022」における事例発表団体の 選定について



本市の取組みが「行革甲子園2022」の発表事例として選定されました！

行革甲子園2022概要（予定）

日時：令和4年8月26日（金）12時半から17時頃

場所：愛媛県松山市 松山市民会館

内容：【事例発表・審査・表彰】

- ・応募があった85事例中、書類審査により8団体を選定。
- ・選定された8団体によるプレゼンテーションを実施。
- ・最も優れた取組みをグランプリとして表彰。

【特別講演】※事前録画

講演者：オードリー・タン台湾デジタル担当大臣

内容：台湾のデジタル化の取組みについて

発表事例

いわき版MaaS推進プロジェクト「行政MaaS」 ～出張行政サービス「お出かけ市役所」の取組み～

行革甲子園とは

地方自治体に取り組んできた「行政改革」に係る先進的・独創的な取組事例を募集し発表・表彰する大会。自治体間でアイデアやノウハウを共有し、自らの取組みに活用することで、行政改革のさらなる推進を図ることを目的に愛媛県が主催しており、これまで5回（H24、H26、H28、H30、R2）開催。



中山間地域等における行政サービスの利便性向上を図るため、オンライン相談機能等を搭載した車両を活用し、出張行政サービス「お出かけ市役所」の実証を行うもの。